

国際社会から見た日本の表現の自由と メディアと「共謀罪」

国連特別報告者・調査報告を踏まえて

近年、表現の自由やメディアの独立性が危ぶまれる日本ですが、昨年4月には「表現の自由に関する国連特別報告者」のデビッド・ケイ氏が公式調査訪問のために来日し、その中間報告で「メディアの独立性に重大な危機を警告」しました。この調査に基づき、今年6月には最終報告書が発表され、ケイ氏は国連人権理事会で報告し日本政府との対話が行われます。



講演者の藤田早苗氏はこの国連調査の実現に尽力し、調査にもアテンドしてかつ最終報告書への情報提供も行ってきました。人権理事会に先立ち一時帰国し、特別報告者の日本への勧告について説明し、また国際社会で日本の表現の自由やメディアがどのように評価されているかを紹介します。

講演会では藤田氏が独自に収録したケイ氏のビデオメッセージを公開し、BBCなどの海外メディアの例も紹介する予定です。

2017年6月6日 (火) 18:30-20:30 (開場は18:00)

入場無料 (カンパ歓迎)

ウィルあいちセミナールーム1・2 (名古屋市東区上堅杉町1番地)

アクセス：地下鉄「市役所」駅2番出口より東へ徒歩約10分／
名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分 / 市バス「市政資料館南」下車北へ徒歩約5分



講師 藤田早苗さん

英国エセックス大学人権センターフェロー。専門は国際人権法。2013年、特定秘密保護法を英訳して国連に通報しその危険性を国際社会に周知。昨年4月の表現の自由に関する国連特別報告者の日本調査実現のために尽力、現在も日本国内外で日本の表現と情報の自由に関する諸問題について問題提起を続ける。名古屋大学大学院国際開発研究科修了。英国エセックス大学で国際人権法学修士号、法学博士号取得。

主催：秘密法と共謀罪に反対する愛知の会 【ﾌﾞﾛｸﾞ】 <http://nohimityu.exblog.jp/>

連絡先：緑オリーブ法律事務所（浜島） TEL：052-838-8795 / FAX：052-838-8796